

# 自転車競技部 近畿高体連主催 近畿大会ロードの部 インターハイ予選 結果報告

大会日 令和7年6月8日(日)

会場：兵庫県立播磨中央公園ロードコース

予選 4.5km×4周=18km

1周4・5kmのサイクリングコース

決勝 4.5km×8周=36km

出場者 2年生 矢邊・吉井・安田 1年生 西里

4月の大阪春季大会ロードの部の結果、本校は2年生3名の出場権を獲得し、監督推薦の1年生1名を含む4名で近畿大会にエントリーしました。

近畿大会はインターハイ予選を兼ねており、インターハイには、近畿ブロック大会10位以内+大阪府枠1名（近畿枠以外の大阪1位）が出場します。

昨年までの一般公道レースとは異なり、少し道幅が狭いコースでの大会となりましたので、86名の選手を2組に分けて予選を実施し、各組25位までの選手50名で決勝を行います。

午前10時に予選1組がスタート。本校からは矢邊と安田が出走しました。先頭集団はスタート直後から有力者が先頭を引っ張り集団の人数を絞りにかかる展開に。矢邊は危なげなく先頭集団に位置しているが、2周目の登りで安田は集団から遅れ始め予選通過が難しくなる。先頭集団は20名に絞られ予選通過がほぼ決まったので安全運転に切り替えて残り1周の鐘。

予選通過順位によって、決勝のスタート位置が決まるので、集団は再びスピードアップ。矢邊は危なげない走りで予選5位で決勝へ。

予選2組には、吉井と西里が出走。予選1組同様に最初から有力選手がスピードを上げる展開で、2周目には先頭集団が28名に西里も1年生ながらよく頑張っ先頭集団の中段に位置し、吉井も先頭集団後方で様子をうかがっている。

3周目の登りで先頭集団の中に吉井が見当たらず、吉井の予選敗退が濃厚に西里は26名の集団内で中段をキープ。

最終回到集団のスピードは1組目同様に上がり、西里は集団から遅れるも22位で予選通過。

決勝は、矢邊と西里の2名がスタート。さすがに8週のレースのため1周目は様子見の展開。2周目に入り集団から逃げようとする選手が入れ代わり立ち代わり現れるが、逃げが決まらず集団のスピードが上がったまま3周目の登りに突入。ここで数名の選手が上がったスピードについていけずに集団から遅れだす。残念ながら遅れ組に西里が含まれている。

4周目が終わる頃には逃げていた選手を集団が吸収し30名程度の大集団で残り4周。矢邊も集団からの逃げを試みるが、集団は活性化する。3週の登りを迎えた。

ここで矢邊にアクシデント、矢邊の前で落車が発生しギリギリで落車は避けるも、他車で左手を負傷、少し遅れて集団を追うこととなった。

5周目に入り、集団から逃げた4名と集団という展開で残り3周。この時点で矢邊は先頭集団に戻り、残り2週の登りで矢邊は2名で逃げに出て5位以内を狙いに行く。

最終回、先頭4名から30秒遅れて矢邊ともう1名、20秒差で集団。フィニッシュはまず逃げていた4名のうち2名がゴール。遅れて2名、矢邊は集団の先頭でフィニッシュまで100mに迫るも、集団はゴールスプリント体勢で矢邊に迫り、ゴール直前で2名に抜かれ、さらに自転車をぶつけられて前輪のスポークが飛ぶも何とか12位でゴール。規定により近畿選考順位10位となり満身創痕の中、インターハイ出場を決めた。



試走開始前

